



慎重に検査をしています

細菌検査と理化学検査という2種類の検査をしています。間違いが
あっては困るので二重に確認をして、みんなが安心して食品を食べら
れるようにしています。食中毒が発生したときには、その原因が何な
のかも検査。検査室は清潔度を保って、他の細菌などが検査に影響し
ないように厳重に管理されています。

臨床検査技師の西子さん
(衛生検査課)

**なぜ何
教えて!**

Q 食べ物の安全
はどうやって調べ
ているの?

**知りた
ら
い
い
ぱい**

A 市内で作られたり売られたりしている食
べ物を、食品衛生監視員という人が集めて
きて保健所で検査をするんだ。保健所では、
食べ物にばい菌が入っていないかや、甘み
や色などを付ける食品添加物が決められた
量よりも多く使われていないかなどを調べ
るんだよ。

食べ物にばい菌が入っていると、食中毒
になることも。食品添加物が決められた量
よりも多く使われていると、健康に害があ
ったり病気になったりすることもあるんだ。

検査で基準に違反が見つかったら、回収
や廃棄の命令を出して、被害が出ないよう
にするんだ。

技術を磨いてタンザニアに貢献



**JICA 青年海外協力隊
でタンザニアへ派遣**

瀬戸 康弘さん 25歳
南橋町

JICA (国際協力機構) の青年海外
協力隊員として、海外へ派遣された瀬戸
さん。派遣先のタンザニアで現地の人た
ちに自動車やバイクなどの整備について
指導や助言を行う。

「アフリカ大陸へ行くのは初めての経
験です。分からないことが多いですが、
少しでも現地の人たちの役に立てるよう
頑張ります」

今回の派遣は、募集のパンフレットを
見て思い切って応募したという。

「中学生のときに見たアメリカの映画
がきっかけで、海外に興味を持ちました。
英語が好きで、将来は海外で活動したい
という気持ちが強かったですね」

整備士の道を本格的に志したのは18歳
のとき。原動機付自転車を整備学校の友

達たちと修理したことが始まりで、就職
後は3年間、プロとしてバイクの整備に
携わった。その後も自衛隊に入隊して、
自動車整備の技術と語学力を磨いてきた。

「指導だけでなく、現地の人との交流
も大切にしたいです。スワヒリ語はまだ
まだですが、ギターと一緒に歌を歌って、
みんなで楽しめたらいいなと思います」

休日には海水浴をしたり、アフリカの
風景や日常を撮影したりするなど、新た
な生活に期待が膨らんでいるという。

「帰国したら、自分で感じたアフリカ
の素晴らしいところや、日本と海外の違
いを小学校などで紹介したいと思います」

今月から2年間、整備にかける情熱を
持つて、見事タンザニアの発展に尽くし
てほしい。



市長と市民が気軽に対話

6月22日、城南支所でタウンミーティング
を開催しました。第六次前橋市総合計画に関
することや地域の課題など、市長と市民が直
接対話を行いました。市政に対する市民の意
見や要望を聞くため、11月まで市内10カ所
でこの対話を開催します。



マンダリンの魅力伝える

6月20日、箱田中で朔太郎音楽祭学校訪
問演奏会を開催しました。これは萩原朔太郎
の愛したマンダリンを、若い世代に親しんで
もらおうとプロの演奏者が生演奏を行うもの。
生徒たちは、マンダリン、ギター、リュート
モデルノの柔らかな音色に聴き入っていました。



乳がんの正しい知識を学ぶ

6月19日、前橋保健センターで市民健康講
座を開催。マンモプラス竹尾クリニック院長・
竹尾健さんが「乳がんを見つける～検診から
診断」と題して、講演を行いました。参加者
は、乳がんの自己検診や専門医による検診の
大切さなどを学び、知識を深めました。



まちなかの夜を彩る BGM

まちなかで多彩な音楽が披露される前橋ま
ちなか音楽会。この一環として、6月14日、
前橋テルサでBGM演奏会が開催されました。
ピアノ調律師・渡辺祐治さんが、独自にアレ
ンジした映画音楽をオルガンで演奏。心温ま
る懐かしい音色がロビーに響き渡りました。